

転倒に関与する薬剤の調査研究

・はじめに

転倒・転落による骨折、あるいはそれによる寝たきりや再転倒への心理的不安は患者の生活に大きな影響を及ぼし、患者の社会復帰を妨げる原因にもなっています。転倒・転落事故が発生するに至るには、複数の要因が関与することが知られていますが、原因の1つとして、睡眠薬等の向精神薬の使用が挙げられます。

本研究で、向精神薬による転倒への影響がどの程度あるか調査を行い、今後の転倒事故の防止に生かしたいと考えました。

・対象

2018年1月1日から2018年12月31日までに下総精神医療センターに入院中または、入院歴のある患者の臨床情報が対象です。

・研究内容

下記の臨床情報を集計します。

- ① 臨床所見（年齢、性別、診断名）
- ② 治療（服用薬剤名、服用量）
- ③ 転倒状況（転倒回数、発生場所、発生時間）

この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、下総精神医療センターにおいては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化など、厳密な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

本研究の実施過程及び、その結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記連絡先までお申し出ください。なお、すでにこの研究の結果が論文などで公表された場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますことを予めご了承ください。

・研究期間

研究を行う期間は倫理委員会承認日より2020年3月31日まで

・研究機関

研究責任者：下総精神医療センター 薬剤科 小泉貴司

連絡先：043-291-1221（代）

内線：3102